

# 令和8年度 学年別教育課程表

B 表

( 表 面 )

教育局	石狩
-----	----

北海道札幌月寒 高等学校	定時制課程
--------------	-------

学科	普通
----	----

学級数	第1学年	1
	第2学年	1
	第3学年	1
	第4学年	1

教科	科目・標準単位数	学年 類型	1 年		2 年		3 年		4 年
			4年次卒業コース	3年次卒業コース	4年次卒業コース	3年次卒業コース	4年次卒業コース	3年次卒業コース	
国語	現代の国語	2	3	3	1	1			
	言語文化	2			1	1	2	2	
	論理国語	4							
	文学国語	4							
	国語表現	4							4
地理歴史	古典探究	4							
	地理総合	2			2	2			
	地理探究	3							
	歴史総合	2					2	2	
公民	日本史探究	3							
	世界史探究	3							
	公民共	2	2	2					
数学	倫理	2				※1 2			
	政治・経済	2					※2 2	3	
	数学 I	3	3	3	3	3			
	数学 II	4							
	数学 III	3							
	数学 A	2					2	2	2
理科	数学 B	2							
	数学 C	2							
	科学と人間生活	2	2	2					
	物理基礎	2					※2 2		
	物理	4							
	化学基礎	2			2	2			
	化学	4							
	生物基礎	2					2	2	3
保健体育	生物	4							
	地学基礎	2				※2 2			
芸術	地学	4							
	体育	7~8	2	2	2	2	2	※3 3	2
	保健	2	1	1	1	1			
	音楽 I	2					2	2	
	音楽 II	2					2	2	
	音楽 III	2					2	2	
	美術 I	2					2	2	
	美術 II	2							
	美術 III	2							
	工芸 I	2							
	工芸 II	2							
	工芸 III	2							
外国語	書道 I	2				※1 2			
	書道 II	2							
	書道 III	2							
	英語コミュニケーション I	3	3	3	2	2			
	英語コミュニケーション II	4					2	2	2
	英語コミュニケーション III	4							
家庭	論理・表現 I	2					※1 2		
	論理・表現 II	2							
情報	論理・表現 III	2							
	家庭基礎	2			2	2			
理数	家庭総合	4					※1 4		
	情報 I	2					2	2	
理数	情報 II	2							
	理数探究基礎	1							
理数	理数探究	2~5							

B 表

(裏面)

北海道札幌月寒 高等学校

定時制課程

学科

普通

教科	学年		1 年		2 年		3 年		4 年
	科目・標準単位数	類型	4年次卒業コース	3年次卒業コース	4年次卒業コース	3年次卒業コース	4年次卒業コース	3年次卒業コース	
商業	ビジネス基礎	2～4	2	2	2	2			
	簿記	2～4					2	2	2
○総合	○ボランティア	1～3				※4 0～3		※4 0～3	
	○企業実習	1～3				※4 0～3		※4 0～3	
各学科に共通する各教科・科目の計			16	16	16	16～22	16	17～27	16
主として専門学科において開設される各教科・科目の計			2	2	2	2	2	2	2
学校設定教科に関する科目の計			0	0	0	0～3	0	0～3	0
総合的な探究の時間		3～6	1	1	1	1	1	1	1
日本語指導		8	0	0	※5 4	※5 4	0	0	0
合 計			19	19	19～23	19～32	19	20～33	19
特別活動	ホームルーム活動		1	1	1	1	1	1	1
備 考			注1 3年次卒業コースでは、通信制課程の科目(※1)から、2年次に4単位まで、3年次に6単位まで履修することができる。 注2 3年次卒業コースでは、高等学校卒業程度認定試験の試験科目(※2)から、2年次に2単位まで、3年次に4単位まで履修することができる。 注3 3年次卒業コースでは、3年次の体育(※3)・3単位のうち1単位は定通併修(通信制課程)の科目によ履修する。 注4 3年次卒業コースでは、実務代替及び社会参加活動等による科目(※4)から、2年次又は3年次にそれぞれ3単位まで履修することができる。 注5 修業年限3年で卒業するためには、3年次終了までに※1～※3の科目及び学校外における学修の単位認定により17単位以上修得していることが必要である。 注6 ※5は現時点での要望である。						

注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番縦型とする。